令和6年度入学生用カリキュラムマップ

【歴史文化学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC1001	初期演習Ⅰ	1	本学で修得すべきことは何かを理解し、自主的に学び新たな発見を導きだせる力を身につけることを目的とする。本学の「立学の精神」「教育目標」を知り、本学学生としての誇りと自覚を持つ。さらに、主体性・論理性・実行力を培い、女性として有為な社会人となるために、それぞれの学部学科の専門性に基づく知識と社会人基礎力の修得の必要性を理解し、各自のキャリアパスを自ら構築する。	本学の修学の基礎となる単位制を正しく理解し、適切な履修計画に沿って修学する主体性、考える力を身につけ、所属学科の３つのポリシーに基づく専門教育の概要を理解し、自らのキャリアデザインを構築する力を身につける。								○	○	○	○
24UJHC1002	初期演習Ⅱ（歴史文化研究）	1	大学教育の導入として、高校までの教育と大学教育との違いを理解し、自主的に学び新たな発見を導き出す力を涵養することを目的とする。本学院の教育理念に基づき、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培う。具体的には、歴史文化学科における４年間にわたる専門的学習に必要となる基礎的知識・スキルおよび研究態度を身につけ、あわせて社会人基礎力を養成することを目指す。	歴史文化学科の教育目標を理解し、専門的な学習を進めるにあたっての必須の基礎知識・技能を身につけ、また研究に向き合う態度を養う。自ら課題を設定し、その解決のために必要な情報を的確に収集して、論理的な思考を経て解決に導く技能・姿勢を身につける。学生相互および教員との豊かで円滑なコミュニケーション能力を身につける。								○	○	○	○
24UJHC1201	歴史文化資料論	1	歴史文化研究の基礎となる史料を正しく読み解き、理解し、批判する能力を養成する。日本の歴史・文化を学ぶにあたり必要な、多様な資料にアプローチする方法を学び、それぞれの資料が作成された背景などを踏まえ、歴史・文化について総合的に理解する力を体得させることを目的とする。	歴史資料の種類・目的また様式について基礎的な知識を身につけ、その読解のための基礎力を修得している。資料の読解を通じて、それぞれの時代の歴史・文化事象を正確に把握する判断力を身につける。						○					
24UJHC1121	文化と民族	1	文化人類学における基礎理論の生成過程を振り返り、「文化とは何か、民族とは何か」の問いに対して現代的な意味での考察を施すことを目的とする。文化人類学の広範な研究領域を構成する各分野の概要と、総合的な人間学としての基礎理論の理解を目指し、同時に世界各地の先住民族の多様な文化のあり方について考える。	文化人類学の基本的な考え方を把握し、この学問が文化と民族をどのように解明してきたかを理解している。世界各地の様々な民族がどのように暮らし、どのような世界観と文化とを育んできたかについて描き出すことができる。	○										
24UJHC1411	文化・歴史研究と情報	1	日本文化や歴史に関連する情報の蓄積と、公開などの活用のあり方についてデータベースやウェブサイトを中心に国内外の動向を概観する。近年急速にデジタル・アーカイブ化が進みつつある文化・歴史関連資料を利用する際の基本的なルールを学修することを目的とする。	現代の歴史文化研究において不可欠な、公開情報の利活用の方法とその注意事項を正しく理解する。情報の性質を精査し、使用条件等に留意して適正にそれを利用することができる。							○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC1131	歴史文化フィールドワーク基礎	1	歴史や文化に関わる問題関心に沿って自らフィールドワークを行うための基礎的な知識、方法を身につけることを目的とする。	自らが設定した課題に沿って計画的に歴史・地理学的調査を実施し、その成果をまとめ、適切に報告することができる。			○							○	
24UJHC1401	文章表現法（歴史文化）	1	大学での学修や社会人としての活動に必要となる日本語の知識を強化し、コミュニケーションやプレゼンテーションの技法を学んで、情報機器を適正に利活用しながら、実践的な文章表現能力を習得する。レポートや報告書の作成に必要な、情報収集能力や読解力、また情報整理能力を身につけて、観察・分析したことがらを、簡潔かつ的確に伝達できる記述力、表現力を養う。	場面や対象に応じた的確な文章を作成する能力を体得している。適切に情報を収集し、論理的に思考して、客観性と説得力のある文章を作成することができる。プレゼンテーションについて基本的な技法を身につけている。							○				
24UJHC1412	情報リテラシー（歴史文化）	1	大学での学修や社会人としての活動に必要になる情報機器の利用スキル、安全で適切な情報活用のスキルなど、基礎的な情報リテラシーを身につけることを目的とする。MS-Officeソフトを確実に使いこなせるよう練習を重ね、そこで習得した技術と知識を適正に利用・駆使して効果的に表現する技能を身につける。	情報機器を適切に使用して効果的なプレゼンテーションを行うことができる。レポート・論文作成に関する基礎的な技法と表現力を身につけている。							○				
24UJHC1421	Oral Communication	1	英語でコミュニケーションを図る際のフォーマットを確認し、実際に「使う」ことを経験しながら、コミュニケーション能力を養う。	基礎的な英語語彙や文法の知識を活用し、インタラクティブな活動を通して、様々な状況での基本的な実用会話ができる。					○						
24UJHC1101	日本史概説	1	日本の歴史において一般的に通説と見なされている諸見解を批判的に再検証し、その問題点を理解する。現在における歴史学研究の水準を把握し、あわせてそこに内在する問題点について認識する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	科学的論理的思考方法を身につけている。歴史学における通説がどのような背景と事情により成立してきたかを正しく認識している。歴史事象および歴史史料についての正確な知識を身につけている。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC1202	日本史料概説	1	歴史学の素材である史料について、文献史料およびその他の史料を概観する。そのうえで日本史学が対象とする文献史料の種類、史料の収集・検索方法を学び、文字情報を文献史料として扱う方法を身につける。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	史料に基づき、客観的に歴史的事象を究明する技法と態度を身につけている。文献資料の適切な検索方法、収集方法を理解している。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。						○					
24UJHC1102	考古学概説	1	考古学、および考古学資料についての基礎知識を学んで研究水準を把握することで、現代の考古学上の課題を概括することを目的とする。	考古学についての基本的知識を学び、考古学資料、遺跡、考古学上の課題を把握している。	○										

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC1111	人文地理学	1	人と空間、環境との関わりについて理解するために、人文地理学の基本である地図を対象に考察することを目的とする。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	人文地理学の基本資料である地図について理解し、人と空間、環境について知識と技能を備える。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC1402	日本美術史	1	各時代の美術作品を概観し、作品の特徴を知るとともにそれらが生み出された社会的背景を理解する。美術・芸術に対する興味・関心を喚起する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	日本の美術作品の価値・意義を理解している。美術の範疇や作品に対する価値観の変遷について理解している。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC1301	女性史概説	1	ジェンダーの視点から歴史学を捉え直し、男性中心に記述されてきた歴史を読み替えることを目的とする。ジェンダーの視点を確保する以前と以後とで女性史研究がどのように変容したかを学習する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	ジェンダー分析の視角と方法を知り、歴史・文化・社会における性差の意味を理解している。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。				○							
24UJHC1203	古文書入門	1	古文書を解読するうえで必要なくずし字読解の技術を習得するとともに、古文書の用語、様式や伝来など古文書にまつわる基礎知識を学び、その内容を的確に解釈できる力を身につける。	初歩的なくずし字を読み解くことができる。古文書に特有の用語や様式を把握している。						○					
24UJHC1112	自然地理学	1	日本および世界各地の自然を学び、自然環境の諸要素や相互のつながり、また人々の生活との関係を理解する。現代の人間が直面する課題に対し、自然環境と人間との相互作用的関係を考察・説明する能力を獲得することを目指す。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを目的とする。	自然地理学の考え方を理解し、地形や気象について一定の知識を備えている。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC1211	民俗資料を読む	1	日記・記録などの文字資料に加え、住居・衣服・食事・年中行事などの民俗資料を対象に、日本の風俗、主観、その生活文化について学ぶことを目的とする。	日常生活のなかに見出される様々な文化現象に関心を払い、それらを科学的に分析し、評価することができる。			○							○	
24UJHC1122	文化人類学概説	1	文化人類学の研究領域を総体的に学び、文化人類学の学術的基盤と可能性について把握することを目的とする。世界各地の民族が持つ文化の多様性を理解する。	文化人類学の思考・研究方法を知り、それを応用して、ますます多様化する文化現象を分析することができる。社会の複雑化の過程を理解し、言語の構造や宗教と儀礼の関係など文化人類学が扱う主要なテーマについて理解している。	○										

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC1103	日本思想史	1	古代から現代に至るまでの日本における思想的展開を概括的に理解したうえで、各時代の政治・社会・宗教思想の特質を把握することを目的とする。また、本科目は、中学教科社会を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	代表的な思想家の論説についてその概要と特質を理解し、文学・芸術作品の思想的背景を把握している。それぞれの思想が日本の国家・社会・文化の形成に果たした役割を認識している。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC2111	地理学概説	2	地理学の学問的特質、内容について学ぶことを目的とする。地域、環境、景観などをキーワードに、人々が暮らす地域、生活について考察する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	地理学についての基本的な見方、考え方を学んだうえで、その現代的課題について自ら考察し、探求することができる。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC2201	日本古代史史料を読むⅠ	2	日本古代の文献史料を正確に読み解く能力と技法を養成する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	史料の原文を正しく読み解き、内容を理解する能力を備えている。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。						○					
24UJHC2202	日本古代史史料を読むⅡ	2	Ⅰの学修を踏まえて、古代文献史料をさらに深く探求し、実践的に考察することを目的とする。	史料の原文を正しく読み解き、内容を理解する能力を備えている。						○					
24UJHC2203	日本中世史史料を読むⅠ	2	日本中世の文献史料を正確に読み解く能力と技法を養成する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	史料の原文を正しく読み解き、内容を理解する能力を備えている。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。						○					
24UJHC2204	日本中世史史料を読むⅡ	2	Ⅰの学修を踏まえて、中世文献史料をさらに深く探求し、実践的に考察することを目的とする。	史料の原文を正しく読み解き、内容を理解する能力を備えている。						○					
24UJHC2205	日本近世史史料を読むⅠ	2	日本近世の文献史料を正確に読み解く能力と技法を養成する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	史料の原文を正しく読み解き、内容を理解する能力を備えている。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。						○					
24UJHC2206	日本近世史史料を読むⅡ	2	Ⅰの学修を踏まえて、近世文献史料をさらに深く探求し、実践的に考察することを目的とする。	史料の原文を正しく読み解き、内容を理解する能力を備えている。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。						○					

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC2207	日本近現代史史料を読むⅠ	2	日本近現代の文献史料を正確に読み解く能力と技法を養成する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	史料の原文を正しく読み解き、内容を理解する能力を備えている。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。						○					
24UJHC2208	日本近現代史史料を読むⅡ	2	Ⅰの学修を踏まえて、近現代文献史料をさらに深く探求し、実践的に考察することを目的とする。	史料の原文を正しく読み解き、内容を理解する能力を備えている。						○					
24UJHC2209	古記録と古文書	2	古記録や古文書に親しみ、それぞれの特色を知り、読解に必要となる文字・表記、語彙、語法の特徴を学ぶことを目的とする。	文書・記録類の様式や機能的特徴を把握し、古記録・古文書を解読する知識と技能を備えている。						○					
24UJHC2112	地誌学	2	地域のありようを様々な視点から総体的に捉えることを目的とする。あわせて、地理学と歴史学との接点についても考える。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	自然環境とそこに暮らす人々の生活様式について比較検討しながら評価することができる。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC4201	文化遺産論	4	文化遺産の定義とその意義、文化遺産をめぐる現状と課題、およびその評価と活用について学ぶことを目的とする。	文化遺産の重要性、意義と現状、課題について理解し、今後の活用に向けて考察し、行動することができる。	○										
24UJHC1123	食の文化誌	1	日本の固有の食文化を歴史的にあとづけるとともに、アジアの食文化のなかでの位置づけについて考察する。	日本の食文化がどのように形成され展開してきたか理解している。現代日本の食文化が世界のなかでどのような位置にあるかを理解し、文化の多様性を認識することができる。	○										
24UJHC1403	言語と文字の史的変遷	1	文献史料に伝存する日本語および文字表記の実態と特徴を学び、その史的変遷をたどることを目的とする。	日本語の文字表記、語彙、語法に関する各時代の特徴を的確に把握している。						○					
24UJHC1404	江戸の風俗と絵画	1	風俗画・浮世絵の種々相を、制作と享受の両面から学び、それを通して江戸時代の生活や文化を考察することを目的とする。	風俗画・浮世絵を鑑賞・分析するための基礎知識を身につけている。近世期におけるメディアの展開について理解している。	○										
24UJHC2101	縄文・弥生の考古学	2	日本の縄文時代から弥生時代までの遺跡・遺物の特色を学び、当時の人々の衣食住や信仰、社会のあり方などについて理解することを目的とする。遺跡と遺物の年代測定の観点・方法を学び、遺跡・遺物研究が当該時代の社会の理解に与える特質について学ぶ。	縄文・弥生期における文化・生活の特色を把握している。縄文・弥生文化と現代文化との共通点・相違点を正しく認識している。	○										
24UJHC2301	歴史のなかの女性	2	日本の社会の歴史的展開において女性が果たしてきた役割を学ぶ。それぞれの時代背景や社会の特質を踏まえたうえで、女性がいかに考え、行動してきたかを把握する。	歴史のなかの女性と現代の女性との立場・境遇・考え方を比較したうえで、女性として現代を生きる意味を主体的に考えることができる。				○							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC2121	日本の生活文化	2	過去から現代に至るまでの、衣・食・住を中心とする生活文化について全般的に学習する。	日本の生活文化の時代的・様式的特色を知り、伝統の継承と新たな様式の創造との両面について理解している。	○										
24UJHC2102	古墳・中近世の考古学	2	古墳時代から江戸時代に至るまでの遺跡・遺物の特色を学び、当時の生活習慣や儀礼、信仰などについて理解することを目的とする。あわせて遺跡・遺物研究が当該時代の社会の理解に与える特質について学ぶ。	古墳時代から平安・鎌倉・室町・江戸時代に至るまでのそれぞれの文化・生活の特色を把握している。生活文化の歴史的展開を認識している。	○										
24UJHC1124	日本の祭礼　春夏秋冬	1	日本の伝統的祭礼を取り上げ、それぞれの地域的特性と歴史的展開過程を学ぶことを目的とする。季節ごとの祭りの意義を考察する。	日本の祭りの特徴を理解し、それに対する社会的関心と意義を理解する。生活と儀礼および芸能との関係性を理解している。	○										
24UJHC2122	中世の文化史　刀剣・武具	2	武器・武具を対象に、文字・図像資料と遺物の両面を取り上げ、日本中世の文化的様相を、武家文化の象徴としての観点から掘り下げる。	武家文化の特色を理解している。刀剣・武具の種々相について知識を修得している。	○										
24UJHC3411	地理と情報	3	自ら地図を作成し、地理学的分析手法を身につけることを目的とする。様々なデータから地図化、分析ができるようになる。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	地図および地形図を読み解く技術を身につけている。ＧＩＳの基礎的な利用方法を修得している。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC2311	装いの日本文化	2	衣服・化粧・装身具を含む身体の装いが日本文化の中でいかに形作られてきたのかについて、歴史的に概説することを目的とする。	身体的な装飾の歴史的変遷を把握し、「装い」という行為の社会的・文化的意味を理解している。	○										
24UJHC2312	すまいの日本文化	2	住居・家屋の歴史的展開を学び、住空間を彩る調度類に関する知識を身につけて、日本の「すまい」の特色を知ることを目的とする。	日本の家屋の構造・機能についての知識を修得している。日本のすまいにおける調度、生活用品の文化的意義を理解している。	○										
24UJHC2411	出版・メディアの文化史	2	出版に関する書誌学的知識を学ぶとともに、日本での出版文化の展開やメディアとしての役割について基礎的な知識を習得する。	出版・メディアが歴史的に担ってきた情報伝達の機能とその享受の様相を把握している。					○		○				
24UJHC3121	信仰の民俗学	3	過去から現代に至る、人々の信仰の実態およびその精神性について学ぶことを目的とする。自然災害や伝染病などの災禍に遭遇したときに人々がどのように認識し対処してきたか、を学習する。また、本科目は、中学教科社会を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	信仰が日常生活のなかで、また非常時において、どのように働いていたかを理解している。祭礼・儀礼と信仰との関係について知識を身につけている。教職課程履修者は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC3111	古代中世の都市と交通	3	日本古代中世の都城と地方都市、およびそれらを繋ぐ道路網に着目し、文献史料や発掘調査成果などに基づきながらその歴史的・社会的意味や機能を考察することを目的とする。	古代中世における日本の都市の構造と特色を理解している。古代中世における道路・交通の実態について理解し、現代のそれと比較検討したうえで、機能や役割について本質的差異を認識している。	○										

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC4401	画像文化論	4	画像として描かれた様々な資料の制作目的や意図、内容を検討し、そこから導き出される歴史史料としての役割と機能について考察する。	画像の歴史資料としての意義を理解している。描かれた画像が社会や生活に果たした役割・機能を理解している。	○										
24UJHC1302	地域社会論	1	日本史における地域社会とは何かについて考察する。その存在形態・展開過程・特質についての分析を通して、地域社会を立体的に把握することを目的とする。	地域社会の政治・経済・社会、および文化的構造を理解し、時代を超えた普遍性と時代ごとの固有性をともに理解している。	○										
24UJHC1303	観光文化論	1	わたしたちの生活における観光と、観光地における意味と課題を対象に、現代における観光の文化的あり方を考察することを目的とする。	観光行動や観光地についての文化的背景、影響、経済的効果など、観光文化の多様な側面について歴史的側面から評価することができる。		○									
24UJHC2401	意匠・デザインの基礎	2	衣食住に関する生活用品や工芸品などに伝存する様々な意匠について、文化史的な視点から基礎的な知識を学ぶ。	意匠・デザインの継承・発展を知り、その表現効果やデザインとしての価値を客観的に分析することができる。					○		○				
24UJHC2302	日本芸能文化史	2	日本の多様な芸能を文化史の観点から取り扱い、上演芸術を中心に、それらが文化としてどう根づき、どのように伝えられてきたかを概観する。	日本の伝統芸能について一定水準の知識を備えている。芸能文化に対する興味・関心を保有している。	○										
24UJHC2303	文化財の活用と保存	2	近代以降の文化財保護の歴史を概観し、文化財の概念の変遷を学んで、文化財に関する基礎知識を習得する。文化財に関する基礎的知識を理解したうえで、文化財が保護されてきた歴史を概観し、文化財の保存と活用についての具体的内容について修得する。	文化財保護ならびに活用に関する今日的課題を理解している。身近な地域の文化財の保護について実践的に考え、行動することができる。	○										
24UJHC3201	伝統工芸の保存と継承	3	日本における工芸について概観し、その成り立ちや変遷について理解したうえで、保存と継承の観点から考察することを目的とする。	伝統工芸の保存と継承について現代的課題を把握し、その解決方法について主体的に考え、行動することができる。	○										
24UJHC3122	地域の伝承	3	日本の各地方に伝わる民話・伝説について、話型の分類や伝承のあり方、相互関係などを調査し、考察する方法を学ぶ。	地域ごとの伝承の特色を理解している。自身の居住地の伝承に興味を持ち、採集・分析することができる。	○										
24UJHC3101	古代史研究の方法と課題	3	日本古代史に関する研究史を把握し、研究動向と課題、そして今後の方向性について考察する。	日本古代史分野における新たな研究領域を開拓し、論理的で有効な論文を構想することができる。	○										
24UJHC3102	中世史研究の方法と課題	3	日本中世史に関する研究史を把握し、研究動向と課題、そして今後の方向性について考察する。	日本中世史分野における新たな研究を開拓し、論理的で有効な論文を構想することができる。	○										
24UJHC3103	近世史研究の方法と課題	3	日本近世史に関する研究史を把握し、研究動向と課題、そして今後の方向性について考察する。	日本近世史分野における新たな研究を開拓し、論理的で有効な論文を構想することができる。	○										

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC3104	近現代史研究の方法と課題	3	日本近現代史に関する研究史を把握し、研究動向と課題、そして今後の方向性について考察する。	日本近現代史分野における新たな研究を開拓し、論理的で有効な論文を構想することができる。	○										
24UJHC4301	地域政策論	4	地方公共団体における行政の機能、仕組みや政策立案の具体的な過程、議会の役割など、地域社会の発展に向けた地域政策を理解するうえで必要な知識を修得する。また、本科目は、中学教科社会を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	地域づくりの実態に学び、地域政策における現状と課題を把握している。教職課程履修者は、学修内容を当該の中学校科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC4302	災害と歴史	4	日本における様々な災害の歴史を概観し、人々が災害とどのように向き合い対応してきたか、について実例に則しながら考察することを目的とする。	過去における災害への向き合い方を理解し、災害に対する現代的な取り組みと対応について把握し、行動することができる。	○										
24UJHC1304	地域文化研究	1	本学が立地する西宮市域・阪神地域・兵庫県域を対象地域として、地域における歴史・文化のあり方を観察する。地域の歴史・文化を素材とする研究方法、およびそれらを活用した行政や民間などの取り組みについて理解を深める。	兵庫県下の地域文化の特色を理解し、地域文化を研究するための基本的な方法と態度を身につけている。			○							○	
24UJHC2131	地域文化フィールドワークⅠ	2	西宮市域および阪神地域に残る歴史の痕跡を調査し、それらを活用したまちづくりや地域の魅力発信の方法について実践的に考察する。	地域文化研究について一定の成果を得ることができる。調査結果を適切に整理しまとめることができる。			○							○	
24UJHC3131	地域文化フィールドワークⅡ	3	兵庫県各地域（旧摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）に残る歴史の痕跡を調査し、それらを活用したまちづくりや地域の魅力発信の方法について実践的に考察する。	地域文化研究について一定の成果を得ることができる。調査結果を適切に整理しまとめることができる。			○							○	
24UJHC2132	歴史文化フィールドワークⅠ	2	歴史に関わる問題関心に沿って自らフィールドワークを行うための基礎的な知識・方法を身につける。	各自が課題を設定し、計画的に調査を実施することができる。調査成果をまとめ、要領よく報告することができる。			○							○	
24UJHC3132	歴史文化フィールドワークⅡ	3	歴史に関わる問題関心に沿って自らフィールドワークを行うための基礎的かつ具体的な知識・方法を身につける。	各自が課題を設定し、計画的に調査を実施することができる。調査成果をまとめ、要領よく報告することができる。			○							○	
24UJHC2133	歴史文化フィールドワークⅢ	2	歴史に関わる問題関心に沿って自らフィールドワークを行うための実践的な知識・方法を身につける。	各自が課題を設定し、計画的に調査を実施することができる。調査成果をまとめ、要領よく報告することができる。			○							○	
24UJHC3133	歴史文化フィールドワークⅣ	3	歴史に関わる問題関心に沿って自らフィールドワークを行うための実践的かつ発展的な知識・方法を身につける。	各自が課題を設定し、計画的に調査を実施することができる。調査成果をまとめ、要領よく報告することができる。			○							○	
24UJHC3401	映像メディア・理論と実践	3	写真撮影と映像撮影の技術の習得を目指し、映像記録機器の操作とデータの管理について総合的に学習することを目的とする。	フィールドワークに際して、適切に写真・映像を撮影・記録することができる。映像記録機器を円滑に使用することができる。					○		○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC3402	歴史文化とプレゼンテーション	3	歴史文化をテーマとしてプレゼンテーションを作成・実践する際の効果的な技法について講義・演習を行う。	主体的にテーマを設定し、計画的に調査を進め、わかりやすい資料を作成して、プレゼンテーションを行うことができる。調査・研究テーマを正確に把握し、かつ的確に伝えるための読解力・構想力・表現力を修得している。					○		○				
24UJHC3001	演習Ⅰ	3	演習担当者の指導のもと、各自の研究を深めるための方法を学ぶとともに、学生同士が発表・討論等を行い、互いの研究の質を高めあう。	卒業論文作成を目標として、研究に必要となる基本的な知識と技能を身につけている。								○	○	○	○
24UJHC4001	演習Ⅱ	4	Ⅰに引き続き演習担当者の指導のもと、各自の研究を深めるための方法を学ぶとともに、学生同士が発表・討論等を行い、互いの研究の質を高めあう。	卒業論文作成に向け、研究に必要となる発展的な知識と技能を身につけている。								○	○	○	○
24UJHC4002	卒業論文	4	これまでの学修により得られた知識や方法を駆使して、その研究成果を論文にまとめる。	独自性のある卒業論文を作成することができる。								○	○		○
24UJHC1422	中国語入門	1	中国語会話の初歩を学ぶ。	簡体字やピンインと声調の仕組みを理解し、発音、語彙、文法などの基礎的な特徴を知り、簡単な挨拶、自己紹介や簡易な日常会話ができる。		○									
24UJHC1423	韓国語入門	1	韓国語会話の初歩を学ぶ。	ハングルの書き方や発音、語彙、文法などの基礎的な特徴を学び、簡単な挨拶、自己紹介や簡易な日常会話ができる。		○									
24UJHC2421	英語で読む日本	2	日本文化・社会に関して書かれた英文の記事・エッセイを読み、英語の語彙力・文法理解力・読解力などの運用能力を高め、日本文化・社会についての理解を深めることを目的とする。	日本文化・社会について説明するための英語のキーワードを把握し、他者に対して英語と日本語とで日本文化を紹介することができる。					○						
24UJHC2422	観光英語	2	旅行業・航空業・ホテル業などの観光サービス業界で必要とされる英語運用能力の向上を図る。	京都・奈良など日本の代表的な観光地について、その歴史・地理的特色を英語で紹介できる能力を身につけている。国際交流に積極的に関わる意識を備えている。					○						
24UJHC3403	キャリアとコミュニケーション	3	社会生活を送るうえで必要になるコミュニケーション能力の必須条件を理解し、自己表現、対話能力、プレゼンテーション能力の向上を目指す。	日本語表現に関する一般常識的教養を身につけている。場面・状況に応じた的確な口頭表現ができる。							○				
24UJHC3404	くらしと言語景観	3	身近なくらしのなかにある言語や文字表現を具体的に調査、収集し、それが織りなす空間・環境を客観的に観察することによって、言語生活を立体的に把握する。	くらしのなかにある言語の機能と表現効果を理解し、くらしのなかの表現者として豊かな表現力を発揮することができる。						○					
24UJHC3105	東洋史	3	東洋の歴史における思想、社会のあり方について理解し、歴史を捉える視点を身につけることを目的とする。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	世界史的観点から、東洋の歴史的事象、思想や観念について把握することができる。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		○									

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2
24UJHC3106	西洋史	3	ヨーロッパの歴史を中心に、古代、中世、近世、近代、現代といった時代の特徴を概観するとともに、宗教改革、啓蒙思想、国民国家などのいくつかのテーマを取り上げながら、それぞれに関する具体的な事象を考察する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	過去と現在の変化や諸地域における多様性を検討し、現代世界の成り立ちを知るとともに、歴史を通じて現代社会の諸問題に対する多角的なまなざしを備えている。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		○									
24UJHC3107	近代の世界史	3	近代ヨーロッパにおいて国民国家が形成される過程と、民族意識や国家の構成員たる国民としてのアイデンティティをどのように育成したかについて、歴史学の観点から考察する。また、本科目は、中学教科社会および高校教科地歴を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	近代の世界史について幅広い知識を身につけている。歴史的な視点を備え、身の回りの現象から歴史的な要素を見出し、説明することができる。教職課程履修者は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		○									
24UJHC4303	多文化共生論	4	多文化共生社会の諸相について、公共空間で展開されている取り組みを学ぶとともに、歴史知識を文化の受容や文化交流史的な観点から読み取ることを目的とする。	多文化共生の観点に立ち、わたくしたちの身近なくらしを客観的かつ具体的に観察することができる。	○										
24UJHC4304	観光と行政	4	観光と行政の関わりについての歴史的展開と現代的課題について、具体的な事例をもとに理解することを目的とする。	観光と行政の歴史的展開に基づく現代的課題を理解したうえで、今後の展開について提案することができる。		○									
24UJHC1305	法律学	1	日常生活を送るうえで身につけておきたい法の諸側面を教授し、ひとりひとりの法意識の向上に努める。また、本科目は、中学教科社会を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	身近なところに存在する「法」に気づき、法がどのようにして私たちの生活を規制し、あるいは保護しているのかを理解している。教職課程履修者は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC1306	経済学	1	経済学全般について、マクロとミクロの双方の観点に即し、初歩的な概念・知識および考え方を学ぶ。また、本科目は、中学教科社会を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	日本経済の歴史と現状ならびに国際経済の動向を把握している。教職課程履修者は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										
24UJHC3301	社会学	3	社会学の立場と方法により現代社会を分析・検証し、それが直面する諸問題を考察する。また、本科目は、中学教科社会を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	現代社会に内在する諸問題について、それを改善・解決に導くよう主体的に考えることができる。教職課程履修者は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号 凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1．知識・理解				2．技能・表現			3．思考・判断		4．態度・志向性	
					1−1	1−2	1−3	1−4	2−1	2−2	2−3	3−1	3−2	4−1	4−2
24UJHC3302	倫　理　学	3	倫理学における西洋・東洋の過去の代表的な諸理論について成り立ちや概要を学び、その現代的意義について考察する。また、本科目は、中学教科社会を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一つの目的とする。	哲学・倫理学的思想の初歩を修得している。社会に存在する倫理的規範について自ら問い直すことができる。教職課程履修者は、学修内容を当該の中学校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○										